

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 久保木 秀夫

研究課題		中古中世文学に関する原本資料の調査研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の中古中世文学のうち、和歌、及び中古仮名散文に関する写本・版本・古筆切（こひつぎれ）といった原本資料、及び書籍目録・蔵書目録をはじめとする関連諸資料を博捜し、実地に、もしくは2次的媒体を活用しつつ、書誌学的・文献学的な調査研究を行い、文学研究資料としての価値を明らかにしていく。</li> <li>・また学会未知の資料について、随時活字化し、学界に紹介していく。</li> <li>・また本文の翻刻・校訂・校注などについても、方法論を模索しながら研究していく。</li> <li>・得られた研究成果については、随時論文とし、学術誌に投稿・寄稿していく。学会発表等への申し込みなども検討したい。</li> <li>・集積されていく諸資料・諸データについて、最新のデジタル機器を活用しながら整理・保存等していく。</li> </ul>
	研究の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本古典文学、特に和歌及び中古仮名散文に関する古典籍・古筆切、及び書籍・蔵書目録類といった関連資料の原本ないし図版資料の調査のため、宮内庁書陵部・国文学研究資料館・東京大学史料編纂所・静嘉堂文庫といった所蔵機関に赴き、閲覧や書誌情報の採取などを実施した。うち、とりわけ重要性の認められた、金葉集・西行物語・輪池雑録・年代記類等につき、複写物をも作成し、それらの資料的価値についての詳細な検討を開始した。</li> <li>・また日本古典文学研究や書誌学・文献学の最新の研究成果を学び、あるいは認識を深め、発表を含めた方法論に習熟するため、『江戸の古本屋』『紙が語る幕末出版史』等の学術書をも購入した。</li> <li>・またデジタル化が日々進んでいる研究環境に対応するため、iPadをも導入し、大量のPDFファイルを調査先に持参するなど、活用している。</li> <li>・本年度までに得られた研究成果等については、業績欄のとおり口頭発表を行ったり、論文を執筆公刊したりすることによって、学界・社会へと還元するように努めた。</li> </ul>
	研究の考察・反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の調査研究によって、これまでも論じてきた和歌及び中古仮名散文はもちろんのこと、近世国学者の叢書類中の重要資料、また天皇別の歴史年表とも言うべき年代記類などについても、学術的な関心を向けられるようになった。今後の研究の幅をより広めることができそうである。</li> <li>・一方、例年に比べ、遠方に赴くのは必要最小限とし、実地調査は都内中心ということとした。本学への着任一年目ということもあってやや控え目にしたのであったが、それによって得られる情報や知見も自ずと制限されることとなった。この点は反省し、来年度以降は改善に努め、積極的な調査活動を再開していくことにしたい。</li> </ul>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>【研究発表等】</p> <p>拾葉集・続現葉集・新浜木綿集・浜木綿集—中世私撰集の一傾向— 和歌文学会例会 2019年1月12日 於青山学院大学</p> <p>古典をいかに「発信」するか—文学・文化・文化財—企画・及び趣意説明 中古文学会秋季大会 2018年10月20日 於ノートルダム清心女子大学</p>	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>『伊勢物語』根源本再考—識語の異同とその解説— 日本大学国文学会総会 2018年6月30日 於日本大学文理学部 *一部に科研・基盤B(大阪大学)の成果も含む</p> <p>【論文】</p> <p>『永徳百首』正親町三条実継詠・前論補訂及び翻刻 『語文』第163輯(掲載予定) 2019年3月</p> <p>元禄八年刊『新撰古筆手鑑』—古筆の摸刻資料その一—(日々は探索～古筆切・写本・たまに版本～第八回) 『日本文学研究ジャーナル』第9号(掲載予定) 2019年3月</p>	

『源氏物語』紀州徳川家旧蔵本の片鱗 \*一部に科研・基盤 B (大阪大学) の成果も含む  
『汲古』第 74 号 1-6 頁 2018 年 12 月

「版本写し」と熊沢蕃山『大和西銘』写本断簡 (日々是探索～古筆切・写本・たまに版本～第七回)  
『日本文学研究ジャーナル』第 8 号 150-159 頁 2018 年 12 月

伝頭昭筆『万葉集』注記断簡と元暦校本の「裏書」 (日々是探索～古筆切・写本・たまに版本～第六回)  
『日本文学研究ジャーナル』第 7 号 120-127 頁 2018 年 9 月

『古今著聞集』の古筆切 (日々是探索～古筆切・写本・たまに版本～第五回)  
『日本文学研究ジャーナル』第 6 号 113-120 頁 2018 年 6 月